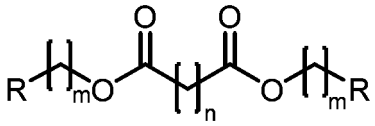
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和7年3月14日(2025.3.14)

【国際公開番号】WO2024/005188
【出願番号】特願2024-530994(P2024-530994)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ 27/00(2016.01)
Ａ２３Ｌ 27/20(2016.01)
Ａ２３Ｌ 2/00(2006.01)
Ａ２３Ｌ 2/54(2006.01)
Ａ２３Ｌ 2/38(2021.01)
Ａ２３Ｆ 3/16(2006.01)
Ａ２３Ｇ 3/36(2006.01)
Ａ２３Ｇ 9/32(2006.01)
Ａ６１Ｑ 11/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 8/37(2006.01)
Ａ６１Ｑ 13/00(2006.01)
Ａ２３Ｌ 2/56(2006.01)
Ｃ１２Ｇ 3/06(2006.01)
Ａ２３Ｇ 3/34(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ 27/00 Ｚ
Ａ２３Ｌ 27/20 Ｄ
Ａ２３Ｌ 2/00 Ｂ
Ａ２３Ｌ 2/54
Ａ２３Ｌ 2/00 Ｔ
Ａ２３Ｌ 2/38 Ａ
Ａ２３Ｆ 3/16
Ａ２３Ｇ 3/36
Ａ２３Ｇ 9/32
Ａ６１Ｑ 11/00
Ａ６１Ｋ 8/37
Ａ６１Ｑ 13/00 １０１
Ａ２３Ｌ 2/56
Ｃ１２Ｇ 3/06
Ａ２３Ｌ 2/38 １０３Ａ
Ａ２３Ｇ 3/34 １０２

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月20日(2024.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記一般式（Ｉ）で示されるジエステル化合物を有効成分として含有する、炭酸感付与ないし増強剤。

【化１】



(I)

［式中、Ｒは、メチル基、エチル基またはイソプロピル基であり、
ｎは、１～８の整数であり、
ｍは、０～６の整数である。］

【請求項２】

前記ジエステル化合物において、Ｒがエチル基またはイソプロピル基であり、ｎが２～８の整数であり、ｍが０～４の整数である、請求項１に記載の炭酸感付与ないし増強剤。

【請求項３】

前記ジエステル化合物が、セバシン酸ジエチル、コハク酸ジエチル、アジピン酸ジイソブチル、マロン酸ジエチル、セバシン酸ジブチル、セバシン酸ジメチル、およびアジピン酸ジプロピルからなる群より選ばれる１種以上のジエステル化合物である、請求項１に記載の炭酸感付与ないし増強剤。

【請求項４】

請求項１～３のいずれか１項に記載の炭酸感付与ないし増強剤を含有する、炭酸感付与ないし増強用香料組成物。

【請求項５】

請求項１～３のいずれか１項に記載の炭酸感付与ないし増強剤を含有する、炭酸感が付与ないし増強された飲食品またはオーラルケア製品。

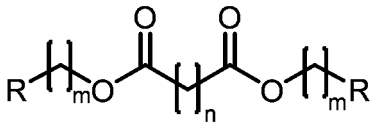
【請求項６】

前記ジエステル化合物の含有量が０．０１ｐｐｍ～１００００ｐｐｍである、請求項５に記載の飲食品またはオーラルケア製品。

【請求項７】

炭酸感が付与ないし増強された飲食品もしくはオーラルケア製品を製造する工程において、下記一般式（Ｉ）で示されるジエステル化合物を飲食品もしくはオーラルケア製品中の含有量が０．０１ｐｐｍ～１００００ｐｐｍになるように配合する工程を含む、炭酸感が付与ないし増強された飲食品またはオーラルケア製品の製造方法。

【化２】



(I)

［式中、Ｒは、メチル基、エチル基またはイソプロピル基であり、
ｎは、１～８の整数であり、
ｍは、０～６の整数である。］

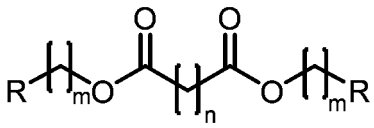
【請求項８】

前記ジエステル化合物が、セバシン酸ジエチル、コハク酸ジエチル、アジピン酸ジイソブチル、マロン酸ジエチル、セバシン酸ジブチル、セバシン酸ジメチル、およびアジピン酸ジプロピルからなる群より選ばれる１種以上のジエステル化合物である、請求項７に記載の炭酸感が付与ないし増強された飲食品またはオーラルケア製品の製造方法。

【請求項９】

下記一般式（Ｉ）で示されるジエステル化合物を有効成分として飲食品またはオーラルケア製品に配合することを含む、炭酸感付与ないし増強方法。

【化３】



(I)

[式中、Ｒは、メチル基、エチル基またはイソプロピル基であり、
ｎは、１～８の整数であり、
ｍは、０～６の整数である。]

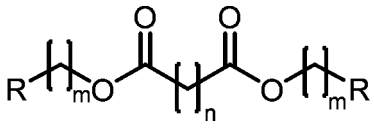
【請求項１０】

前記ジエステル化合物が、セバシン酸ジエチル、コハク酸ジエチル、アジピン酸ジイソブチル、マロン酸ジエチル、セバシン酸ジブチル、セバシン酸ジメチル、およびアジピン酸ジプロピルからなる群より選ばれる１種以上のジエステル化合物である、請求項９に記載の炭酸感付与ないし増強方法。

【請求項１１】

下記一般式（Ｉ）で示されるジエステル化合物を有効成分とする、口当たり改善剤。

【化４】



(I)

[式中、Ｒは、メチル基、エチル基またはイソプロピル基であり、
ｎは、１～８の整数であり、
ｍは、０～６の整数である。]

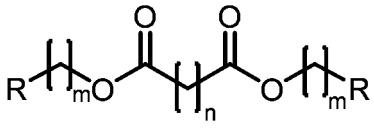
【請求項１２】

前記ジエステル化合物が、セバシン酸ジエチル、コハク酸ジエチル、アジピン酸ジイソブチル、マロン酸ジエチル、セバシン酸ジブチル、セバシン酸ジメチル、およびアジピン酸ジプロピルからなる群より選ばれる１種以上のジエステル化合物である、請求項１１に記載の口当たり改善剤。

【請求項１３】

下記一般式（Ｉ）で示されるジエステル化合物を有効成分として飲食品またはオーラルケア製品に配合することを含む、口当たり改善方法。

【化５】



(I)

[式中、Ｒは、メチル基、エチル基またはイソプロピル基であり、
ｎは、１～８の整数であり、
ｍは、０～６の整数である。]

【請求項１４】

前記ジエステル化合物が、セバシン酸ジエチル、コハク酸ジエチル、アジピン酸ジイソブチル、マロン酸ジエチル、セバシン酸ジブチル、セバシン酸ジメチル、およびアジピン酸ジプロピルからなる群より選ばれる１種以上のジエステル化合物である、請求項１３に記載の口当たり改善方法。